

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

東京電力株式会社に対して、損害賠償請求を行いました

町は東京電力株式会社に対して、東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所事故による原子力損害に関する損害賠償を請求することとし、5月26日、役場二本松事務所にて町長より請求書を手渡しました。

なお、今回の請求は損害の一部であり、今後算定が完了したものについて順次請求します。

■請求金額 502,997,434円

■請求内容 事故発生時から平成24年3月末日までに発生した事故対応に係る一般会計の経費等

☎総務課財政管財係 TEL0243(62)0132



浪江町防犯見守り隊の隊員が 増員されました

浪江町防犯見守り隊の7名の新隊員への委嘱状交付式が5月28日、役場二本松事務所で行われました。見守り隊は、町内でのパトロール、立入者への声掛けを行っています。



☎帰町準備室危機防災係 TEL0240(34)0229

浪江町防災会議が開催されました

浪江町地域防災計画の見直しのため、浪江町防災会議が5月28日、役場二本松事務所で開催されました。会議では、次の4つの方針が決定され、防災計画の見直しがスタートしました。

- ①実行性のある避難システムの構築
- ②廃炉作業のリスクに応じた防災対策
- ③段階的な帰町への対応
- ④各種施策への防災の織り込み

これは帰町後の防災計画となります。震災の教訓を活かし、皆さまが安心できる計画となるよう取り組んでいきます。計画の見直しにおいては、皆さまよりご意見等を伺う機会も考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☎帰町準備室危機防災係 TEL0240(34)0229

ここから下は広告です。

エコドライブ、美しい環境とモビリティの楽しさを次世代へ。

双葉ホンダモーターズです。本宮店・須賀川森宿店でお待ちしております。

SHUTTLE

NEW ハイブリッドカーに、新たな可能性を。



Honda Cars 福島県央 本宮店
〒969-1165 本宮市本宮字中台21 営業時間 8:30~18:30 毎週火曜定休
TEL0243-24-8188

Honda Cars 福島県央 須賀川森宿店
〒962-0001 須賀川市森宿字日向29-12 営業時間 8:30~18:30 毎週火曜定休
TEL0248-76-3115

町の農業再生に向けて

皆さまの応援の中、
田植えを行いました

5月18日、昨年コメの作付けを行った酒田地区で、今年も田植えが行われました。馬場町長や環境省、東北農政局、復興庁、福島県、県議会、町議会などの関係者が応援に駆けつけ、地元農家の方に教わりながらコシヒカリの苗を植えました。田植えを終えた馬場町長は、「風評被害はあるが、基準値以下になることを願って、今年は販売に向けて準備を進めたい」と話しました。

また、田植えに先立って行われた座談会では、酒田農事復興

笑顔の馬場町長(左)と地元農家の松本さん(右)



田植えに参加した馬場町長、檜野副町長、町議会、酒田農事復興組合、環境省、東北農政局、復興庁、福島県の皆さん



座談会の様子

力を尽くす」といった内容で、浪江町を応援する言葉が述べられました。

主な参加者のコメント

***環境省・福山政務官**

「環境省だけでなく、内閣をあげて風評被害対策をしつかりとできるように頑張っていきたい」

***東北農政局・豊田局長**

「試食会でいただいたお米は非常においしく、試食会中はお米の消費量が増加した。風評を

払拭するために全力を尽くしていきたい」

***福島復興再生総局・中島事務局長**

「町の方々を支援しながら、震災前の水田の風景を取り戻すよう尽くしていきたい」

浪江町に咲く花や
小麦を見ていただき
ました

5月18日、幾世橋地区で花や小麦を栽培するNPO法人Jin(代表・川村博さん)のほ場を、馬場町長や東北農政局、復興庁、福島県などの関係者が視察に訪れました。

川村さんは、「金色の穂が国道6号から見えるようにと小麦を植えた。花は育てるのが難しいものもあるが、ICT(情報通信技術)を活用しながら挑戦していきたい」と説明しました。NPO法人Jinのほ場では、



NPO法人Jinから、浪江町役場二本松事務所に寄贈されたヒマワリ(5月7日撮影)

昨年度好評だったトルコギキョウに加えて、今年にはヒマワリやリンドウなども栽培されています。どの花も生育がよく、順次出荷を行う予定です。



説明を行う川村さん(左から2人目)と、耳を傾ける馬場町長、檜野副町長、東北農政局、復興庁、福島県の皆さん